

# 私たちは、みどりのちからを活かして、 持続可能な社会の実現を目指します。

人はみどりからたくさんの恩恵を授かっています。

この自然の摂理を大切にしながら、私たちは、みどりと共に夢を見られる持続可能な社会をつくりたいと考えています。日比谷アメニスグループはどんな会社なのか。どんな社会貢献をしているのか。

そのことを、一人でも多くの方に知っていただきたくて、分かりやすく親しみやすい、

思わず手に取りたくなるレポートづくりを目指しました。

私たちと関わる一人でも多くの方に、読んでいただければうれしいです。

レポートタイトル「キニナル」の由来

- 「樹になる」みどりを増やす
- 「機になる」地域の皆さまをつなげる
- 「起になる」新しい事を始める
- 「旗になる」私たちの考えを示す

そんな「気になる」取り組みをご紹介します  
という意味を込め「キニナル」の  
タイトルをつけました。



## トップメッセージ

トキトキトキトキ



時代や場所によって変化するニーズに対応し、  
弊社にしかできない価値の提供を実現する

今年は大政官布達により都市公園の制度が設けられてから150年の節目の年です。この150年の間に公園や緑地に対するニーズは大きく変化し、今後も変わり続けるでしょう。造園の仕事をするうえで、目の前の利用者のニーズに応えることはもちろんですが、中長期的な視点を持ちながら、潜在的な利用者や社会・環境への影響も想定していかななくてはなりません。公園・緑地に求められるものは場所によっても異なり、立地条件や地域の住民・コミュニティ、さらには生態系・風土など、様々な要素を考慮する必要があります。弊社は全国的に事業を展開し、計画・施工・管理運営と造園に関する一連の段階に関わっています。そして、各地の現場にある情報を、全国的な範囲で収集しながら、ノウハウを蓄積することができます。このノウハウを時代の流れにも対応させ、弊社にしかできない価値の提供を実現したいと考えます。

事業が生み出す多様な価値に関するエビデンスを蓄積し、  
環境貢献に資する活動の発展を目指す

弊社の今年の動きとしては、エコアクション21の認証取得がありました。事業活動を通じて環境にどのような影響があるかを把握し、改善にもつなげ、より環境にやさしい会社となることを目指します。そして弊社は、環境負荷の低減だけでなく、花やみどりを使った事業を通じ、環境にプラスとなる価値を生み出すこともできます。このような価値を生む事業活動を推し進めるため、環境方針を策定しました。環境方針では脱炭素や資源循環だけでなく、生物多様性や地方創成、ウェルビーイングなどに貢献していくことも含めた方針としています。しかしながら、花やみどりを使った事業から生み出される多様な価値は、感覚的に認識することはできても、客観的に評価できないものが多くあります。そのため、事業活動のほか教育機関と連携した研究活動も行いながら、価値の客観的な評価のためのエビデンスの蓄積を進めています。どのような活動がどの程度の環境価値を生み出すのかを明確にし、弊社の事業の方向性や、造園という仕事のあり方を見つめ直し、環境貢献に資する活動を発展させていくことを目指していきます。

株式会社日比谷アメニス 代表取締役 伊藤 幸男

